

高度な技術でほぼ全ての消化器手術を 腹腔鏡下で安全に施行。単孔式手術も実施



毎日の健康から救命救急まで。

ひとりでも多くの方に安心をお届けする。

私たちは、地域とともに

みなさまの健康をサポートします。

まいにちから、
まんいちまで。

札幌市の中心部からほど近い山の手地区にあり「人と自然の健康と調和を大切に医療を実践します」を基本理念とする。災害拠点病院の指定を受け、東日本大震災ではDMAT(急性期災害医療支援チーム)を派遣し、心のケアチームを含めた5チームが医療支援を行った。臨床研究部では難病や希少疾患の先進的研究と治験の推進を図っている。病床数500床、29診療科。駐車場220台完備



① 外科スタッフ
② 腹腔鏡手術

北海道医療センターは、500床を有し、100人以上の医師と約400人の看護師、他にコメディカルスタッフを合わせると750人以上が勤務する29診療科を備えた総合病院だ。同病院は災害医療や急性期医療の拠点として3次救命救急センターを設置し、24時間の救急医療を受け持つ一方、神経難病、結核、精神科身体合併症、小児慢性疾患などの政策医療も担っている。また地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院の指定を受けており、地域と一体になった医療システムを構築し日頃の連携はもちろん、「まんいち」の際にはいつでも受け入れが可能な体制をとっている。また、2019年2月からは新棟の建設も始まり病院機能はさらに拡充される予定だ。

北海道医療センターは北海道がん診療連携指定病院として北海道におけるがん診療の中心的な医療機関としても指定されており、外科においてもがんに対する手術を数多く行っている。特に胃がん、大腸がんといった高度な技術を要する手術も、多くの経験と高い技術を持った医師が複数在籍しているため、そのほとんどを腹腔鏡下手術で安全に実施している。もちろん、胆石症、そ径ヘルニア、急性虫垂炎といった一般的な疾患も多く手術しており、それらも同様にほとんどを腹腔鏡手術で実施している。「最近では比較的小さな手術や早期のがんに対しては単孔式手術を応用した術式(傷の数を1カ所、または2カ所で行う腹腔鏡下手術)も行っていますので、ご希望の方はぜひご相談ください」。

手術以外にも乳がん検診(毎週月曜午後)やストーマ外来(毎月第2、4金曜午後)などの特殊外来にも力を入れている。また、術後のがん患者に対する化学療法も行っており、外来で行う外来化学療法も可能である。

院長 菊地 誠志氏
北海道大学医学部卒業。日本神経学会専門医・指導医・代議員。日本神経免疫学会理事。日本神経治療学会評議員。日本認知症学会専門医・指導医など。医学博士

副院長 長尾 雅悦氏
札幌医科大学卒業。日本小児科学会専門医。臨床遺伝専門医。医学博士

外科系診療部長 川村 秀樹氏
札幌医科大学卒業。日本外科学会指導医。日本消化器外科学会専門医・指導医。日本消化器学会専門医・指導医。日本内視鏡外科学会評議員。日本胃癌学会代議員。医学博士

内科・糖尿病/脂質代謝内科・腎臓内科・心療内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・小児科・精神科・皮膚科・形成外科・眼科・耳鼻いんこう科・アレルギー科・リウマチ科・放射線科・外科・心臓血管外科・小児外科・呼吸器外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科/リハビリテーション科・麻酔科・救急科・病理診断科

独立行政法人 国立病院機構
北海道医療センター

☎011-611-8111
札幌市西区山の手5条7丁目1-1
<http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc>

診療受付時間/
月～金 8:30～11:00 13:00～15:00(一部の科のみ)※初診については原則紹介制、再診については予約制となっております。各科・曜日により異なるため事前にご確認ください
休診日/土曜・日曜・祝日
最寄りアクセス/
JR北海道バス北海道医療センター前停留所下車、地下鉄東西線琴似駅から徒歩約20分